

## ご挨拶

株式会社イー・ビジネス 代表取締役社長 花東江です。平素より当社にご関心をお寄せいただき誠にありがとうございます。この度、皆様方とのコミュニケーションの架け橋となることを期して、ここに『イー・ビジネス News Letter』を発行します。

弊社のニュースや最新の取り組みを始め、チャイナテクノロジーやインバウンドに関するさまざまな情報を発信してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 1. テンセントグループと業務提携

弊社は2019年4月26日に騰訊控股有限公司（本社：中国深圳、代表取締役社長：馬化騰／以下テンセント）と業務委託契約を締結し、業務提携しました。今後、テンセントのCSIG（Cloud & Smart Industries Group）部門のクラウドサービスセールspartner、技術サポートパートナーおよびテンセント SaaS ソリューションパートナーとして、インバウンド分野、エンターテインメント分野等広範囲にわたり協業してまいります。

今回の業務提携により、弊社はテンセントクラウドサービスの日本国内での商品・ソリューションの代理販売店となり、創業以来日本で培ってきた技術力およびネットワークを活用し、テンセントクラウドサービスの日本におけるマーケティングを支援します。

一方、テンセントのプラットフォームの多岐にわたるビジネスの可能性を日本企業に紹介し、日本企業の中国人インバウンド市場への参入・拡大をサポートします。言語の壁を越え、質の高い商品やサービスを訪日中国人客に提供できるよう中国人の消費習慣に基づいた製品・ソリューションを日本企業のお客様にご提供し、日本の商品とおもてなしの認知拡大を促し、日本のインバウンド市場の更なる活性化に貢献してまいります。

## 2. 「miniprogram.jp」開設

テンセント社と業務委託契約を締結したうえで今年度から始まる弊社の新たなプロジェクトであるミニプログラムの開発事業の窓口機能を担うサイト「miniprogram.jp」を5月1日に開設しました。「ミニプログラム」とは、テンセント社が運営している中国のSNSアプリ WeChat 上に提供されるアプリのことで、インストールもダウンロードも必要なく、必要な時のみに呼び出せるのが特徴です。サービスを提供する側にとっても利用する側にとっても手軽に利用できる次世代のアプリです。

日本初のミニプログラム業務の紹介・受託を行うサイトとして立ち上げたこの「miniprogram.jp」は、訪日中国人観光客向け

の接客・集客をよりスムーズに行うように日本企業向けに様々なサービスを紹介しながら開発を請け負う窓口にもなります。

月間アクティブユーザー数 10.82 億人（2018年9月現在）の WeChat は中国最大のオンラインコミュニティです。人々がテンセントの統合されたプラットフォームでコミュニケーションを行い、経験をシェアし、情報を集め、エンターテインメントを楽しんでいるうちに、所謂「テンセント・エコシステム」が形成されてきました。テンセント・エコシステムの中で行われているプロモーション活動、友達同士の情報共有等ユーザー同士のソーシャル関係が消費者の購買行為に直結します。なお、無料の SNS トラフィックがプラットフォームから提供されるため、店舗は一般的なプロモーションよりもコストを抑えることができます。

今後弊社はミニプログラムの開発支援を通じて、テンセント・エコシステムを活用してマーケットインチャイナに取り組む日本企業のお客様をサポートします。

## 3. 2019 Japan IT Week【春】に出展

5月8日～10日、東京ビッグサイトで開催された『2019 Japan IT Week【春】』内の店舗ソリューション展に出展しました。世界最高峰の顔認識 CRM「Retaileye」、QRコードで簡単注文・決済できる「QRorder」、スマホ撮影のみで商品をガイドする「Tugo」、チャットボットで館内をガイドする「AiME」の4つのソリューションを展示し、3日間で延べ200名のお客様に弊社ブースにご来訪いただきました。

中でも顔認証 CRM の「Retaileye」の実演をご覧になった多くのお客様に「認識速度が早い！」「遠くても顔がキャッチできてすごい！」などご好評をいただきました。自動車ディーラー、ホームセンター、ショッピングモールなど売場の接客からパチンコ店、セキュリティ会社の防犯まで、様々な業界のお客様から声をかけていただきました。今回の展示会で出会えたお客様やビジネスパートナーの皆様とのご縁が続きますよう精進してまいります。

## 連載コラム：テクノロジーで日中を繋ごう(1) 「爆買い」の次へ

株式会社イー・ビジネス 代表取締役社長 花東江

2018年、訪日外国人観光客の数は3119万人を超え、そのうち中国人は838万人で過去最高を記録しました。日本に興味を持つ中国人がますます増えてきていると言えるでしょう。訪日中国人客と言えば、2014年頃に定着した言葉「爆買い」が知られ、ドラッグストアや電気量販店を中心に「ものを大量に購入する」行為が日本で注目されていました。しかし、2016年の人民元安と中国の税制変更をきっかけに目立たなくなっています。

とはいえ、2018年の中国人客の総消費額は1.5兆円に達し、訪日外国人消費総額の3/1を占めており、依然として大きな存在感を持っています。その中、消費パターンは少しずつ変化し始め、「量」より「質」へのこだわりが強めつつあり、本国で見つからない製品を探したり現地での買い物体験を楽しんだりする傾向もみられます。

さらに「医療ツアー」の拡大や地方の温泉・グルメ等を求めた「深度遊」（個人的な趣味にフィットするディープな旅行）の流行から、買い物動向は「もの」から「サービス」への移行傾向が見られます。つまり「もの」と「人間」より、「人間」と「人間」の関わりがより求められるようになってきています。

「日本のサービス、日本人のことをもっと知りたい。」そういった中国人訪日客の欲求は日本のインバウンド市場にさらなる活気を与えると同時に、日中間の「草の根交流」を促し、お互いに歩み寄り、深く理解するための良い契機になるでしょう。

### 📷 今月の写真：『2019Japan IT Week【春】』イー・ビジネス出展ブースの様子



#### 【会社概要】

会社名：株式会社イー・ビジネス 設立：2007年6月

代表者：代表取締役社長 花 東江

所在地：東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル 10 階

資本金：8,800 万円（資本準備金含む）

従業員数：236 名

事業内容：システム開発事業 IT ソリューションサービス事業（中国先進企業とのアライアンスサポート）

#### 【内容に関するお問い合わせ先】

株式会社イー・ビジネス PR・広報室 陳（ちん）

TEL：03-6809-3235 FAX：03-6809-3238 E-mail：[chenyiyin@e-business.co.jp](mailto:chenyiyin@e-business.co.jp)

